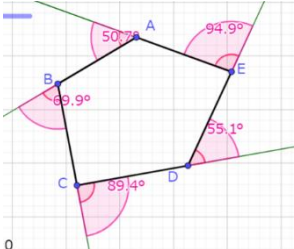
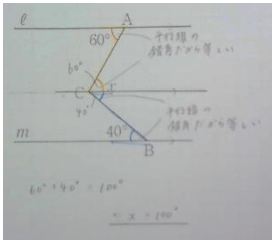
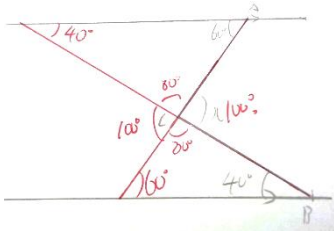
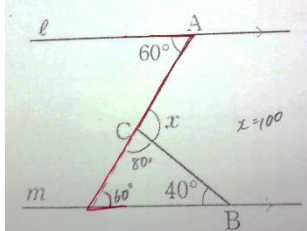



ICT実践レポート

作成者【揖斐川中学校】氏名【河瀬江里】

学年	第2学年
教材	第4章「平行と合同」
活用したソフト・アプリ	<ul style="list-style-type: none"> ・GeoMathRoom 2年生 ・ロイロノート・スクール
活用したICT機器	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一台タブレット (Windows)
活用の実態	<p>【実践1 多角形の外角の和が何度になるか見通しをもつ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GeoMathRoom を授業の導入時で活用。頂点の数や角の大きさを自由に変えることで、多角形の外角の和がいつでも 360° になる見通しをもつことができた。  <p>【実践2 ロイロノートを使った全体交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の課題はプリントを配布。 ・$\angle x$の大きさの求め方を、各自プリントに記入後写真を撮り、ロイロノートに提出。 ・画面共有にすることで、自由に仲間の考えを見ることができる。仲間のノートを見ることで、自分にはない考え方に触れることができた。 ・それぞれがタブレットを見ながら発表を聞いたことで、板書の時間短縮にもつながった。また、指し示したい部分を画面に書きながら説明をした。    
生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを記述できない生徒には、仲間のノート（各自のタブレット画面）を見ることで、考えをもつことができるようになった。 ・実践2では、仲間の考えに触れたことで「新たな考え方がないかチャレンジしたい」と、意欲的に取り組む生徒が増えた。
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・画面を見ながら発表するというのは、タブレット（ロイロノート）ならではだと考える。時間短縮にもつながり、今後も継続的に使用していきたい。 ・誰もが見やすく直接画面に書くのは、慣れが必要。積極的な活用を試みたい。